

韓国

マクロ経済動向

韓国銀行（中央銀行）が12月5日に公表した2013年第3四半期の成長率（改定値）は、季節調整値で前期比1.1%（年率換算4.5%）で、前期の同1.1%と同水準であった。需要項目別に見ると内需では、最終消費支出は同0.8%で前期の同1.1%からやや低下した。固定資本形成は同2.2%で前期の同2.2%と同水準であった。その内訳では建設投資は同3.2%で前期の同3.4%から低下した。一方、設備投資は同1.0%で前期の同▲0.2%からプラスに回復した。外需である財・サービスの輸出は同▲1.3%で前期の同1.8%からマイナスに転じた。

第3四半期の鉱工業生産指数の伸び率は季節調整値で前期比0.2%となり、前期の同0.4%を下回った。月次では、10月は前月比1.4%、11月は同▲0.3%となっている。

第3四半期の失業率は季節調整値で3.0%であった。月次では、10月は3.0%、11月は2.9%となっている。

第3四半期の貿易収支（IMF方式）は166億ドルの黒字であった。月次では、10月は72億ドル、11月は62億ドルのそれぞれ黒字である。

対ドル為替レートは10月に1ドル=1,016ウォン、11月に同1,066ウォン、12月に同1,056ウォンとウォン高基調で推移している。

消費者物価上昇率は、9月に前年同月比1.0%、10月に同0.9%、11月に同1.2%、12月に同1.1%と推移している。生産者物価上昇率は、9月に前年同月比▲1.8%、10月に同▲1.4%、11月に同▲0.9%とマイナスで推移している。

今後の展望

政府系シンクタンク、韓国開発研究院（KDI）は11月19日に経済見通しを発表し、2013年の成長率を前号で掲載した韓国銀行と同じ2.8%、2014年の成長率を韓国銀行を0.1ポイント下回る3.7%と予測している。2014年の成長率に

ついては、年前半が前年同期比3.9%、年後半が同3.5%とし、後半における低下を予測している。韓国において労働、資本ストックを完全に使用した状態の潜在成長率は4%程度と見られており、KDIも韓国銀行同様、2014年にはこの水準に復帰できないと予測したことになる。

2013年の成長率を需要項目別に見ると、内需は民間消費が2.2%で韓国銀行を0.3ポイント下方修正された。設備投資は▲2.5%で韓国銀行を0.7ポイント下回っている。一方、建設投資は7.1%で韓国銀行を1.0ポイント上回った。外需である輸出は4.3%となっている。

2014年の成長率を需要項目別に見ると、内需は民間消費が3.6%で、年前半は前年同期比3.8%、年後半が同3.4%となっている。設備投資は8.4%で、年前半は前年同期比8.0%、年後半が同8.9%となっている。建設投資は2.9%で、年前半は前年同期比4.3%、年後半が同1.8%となっている。外需である輸出は6.6%で、年前半は前年同期比6.1%、年後半が同7.1%となっている。

2014年の失業率については3.1%で、ほぼ前年比横ばいとしているが、雇用者数の増加は2013年の35万人から、40万人に拡大すると見込んでいる。

一方、2014年の消費者物価上昇率は2.0%で、2013年の1.1%から上昇を予測している。

朴政権の新年度の経済政策

朴槿恵大統領は1月6日、「経済革新3カ年計画」を発表し、新年度の経済政策の方向性を提示した。内容としては規制緩和による内需関連産業の成長促進、中小企業の育成などに重点が置かれている。特定の大企業にのみ利益が集中する現在の輸出主導成長の歪を是正することが指向されている。

なお、目標数値としては現在2万3千ドルの一人当たり国民所得を3年かけて4万ドル引き上げるとしているが、これはかなり過大と見られる。

（ERINA調査研究部主任研究員 中島朋義）

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	12年10-12月	13年1-3月	4-6月	7-9月	9月	10月	11月
実質国内総生産 (%)	2.3	0.3	6.3	3.6	2.0	0.3	0.8	1.1	1.1	-	-	-
最終消費支出 (%)	2.0	1.2	4.1	2.2	2.2	0.5	▲0.1	1.1	0.8	-	-	-
固定資本形成 (%)	▲1.9	▲1.0	5.8	▲1.1	▲1.3	▲1.6	3.8	2.2	2.2	-	-	-
鉱工業生産指数 (%)	2.8	▲0.1	14.0	5.9	0.9	0.9	0.1	0.4	0.2	▲1.0	1.4	▲0.3
失業率 (%)	3.2	3.6	3.7	3.4	3.2	3.0	3.3	3.1	3.0	2.7	3.0	2.9
貿易収支 (百万USドル)	5,170	37,866	40,083	31,660	38,338	14,314	9,340	15,838	16,623	5,669	7,028	6,175
輸出 (百万USドル)	422,007	363,534	466,384	555,214	547,870	139,768	135,328	141,167	136,786	44,664	50,488	47,899
輸入 (百万USドル)	435,275	323,085	425,212	524,413	519,584	129,831	129,679	126,785	125,975	41,040	45,612	43,101
為替レート (ウォン/USドル)	1,103	1,276	1,156	1,108	1,127	1,090	1,085	1,123	1,111	1,085	1,066	1,063
生産者物価 (%)	8.5	▲0.2	3.8	6.7	0.7	▲0.9	▲1.9	▲2.3	▲1.4	▲1.8	▲1.4	▲0.9
消費者物価 (%)	4.7	2.8	3.0	4.0	2.2	1.7	1.6	1.2	1.4	1.0	0.9	1.2
株価指数 (1980.14:100)	1,124	1,683	2,051	1,826	1,997	1,997	2,005	1,863	1,997	1,997	2,030	2,045

（注）国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数は前期比伸び率、生産者物価、消費者物価は前年同期比伸び率、株価指数は期末値
 国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数、失業率は季節調整値
 国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、生産者物価は2005年基準、消費者物価は2010年基準
 貿易収支はIMF方式、輸出入は通関ベース
 （出所）韓国銀行、統計庁他